

【2016年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	48,263	101.0	→
支出	47,922	102.1	↗
経常収支差額	341	39.7	↘

評価：年度通し、2名の入居者様をご逝去された。タイミングもあるが、待機待ちの方が複数名居られた事からも速やかに新規入居への移行が行え、安定した1年であった。また、地域・ケアマネジャーさんよりも新規のご相談を頂いており、待機待ち者の確保を継続している状況である。



② 職員配置と研修（職員数は2017年2月現在）

【職員配置】

常勤5名（うち1名小規模であいと兼務） 非常勤11名（うち1名ケアマネージャー含む） 営繕5名
5月に契約職員1名が退職となったが8月に常勤職員1名が加わり、その他では年度途中での職員の退職もなく、安定的であったといえる。また今までケアマネージャーは小規模多機能型居宅介護であいと兼任であったが、今年度からはそれぞれの部署で専任のケアマネージャーを配置した事でケアプラン作成など滞ることなく進行している。

しかしであい立ち上げ当時から長時間の勤務枠を担っていた非常勤職員3名が2、3月末に退職となる。次年度初めは時間帯によって必要な枠に他部署からのヘルプを依頼しながら、非常勤職員の補充を要する。

【研修】

今まで小規模多機能型居宅介護であいと合同で行っていた部門内研修を分けて行った。その為、よりそれぞれの現場状況に沿った内容となり、日頃なかなか話せない職員間での意見交換の場ともなった。

外部研修は常勤職員だけでなく、非常勤職員も参加。皆で学んだ事をチームで共有し、実践できる環境に近づけた。

③ 事業内容

・入居待機待ちの方が8名ほど（うち3名は小規模であいのご利用者）おられ、万が一空床発生時においても迅速に新規入居者受け入れが行える状況である。

・昨年度のテーマに掲げた「スタートは当事者から 聴いて感じて考えての実践の継続」においては職員が入居者さんとの会話の中で伺った想いから実際にご本人の行きたかった場所に行く、したかったこと始めてみるが多く実現できた1年であった。（海水浴、盆踊りを習う、ご家族との温泉旅行）しかし実際に入居者さんの暮らしを見返すと職員主導で今までできていたことを奪ってしまっていた場面もあった。より一層「お一人お一人のできる事を奪わない実践」を常々意識し、入居者さんの持てる力を活かす取り組みを必要と考える。又、であいで暮らされる中で入居者さん同士、またご家族と、または地域の方々とは、互いに支え合い暮らしていける環境を職員が懸け橋の役割を担い、構築していくことを目指す。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	48,800	⇒	
支出	45,039		洗濯機などの買換え

② 主課題

『 であいでの“出会い”からお互いに手を取り合い、支え合いながら暮らせる環境を』

- ① 職員間の情報共有、連携の強化(チームで考える力を養う)
- ② 繋がりを感じられる暮らし、入居者さんのネットワークの拡張
- ③ 日常のプログラムの見直し

③ 年間事業計画(予定)

4月	お花見(万代池公園)	2月	入居者新年会
	つつじ観賞(浅香山浄水場)		節分企画
5月	母の日	3月	ひなまつり
6月	万領保育園交流会※小規模であい合同		ふらっと楽しむすみよし
	父の日		
	御田植神事(住吉大社)	【研修】	6月「感染症」 講師:田中
7月	七夕祭り流しそらめん大会※(地域)		8月「認知症」 講師:山内
	家族会		10月「介護技術」 講師:春海
8月	盆踊り(南万領公園)		12月「プライバシー保護」 講師:中尾
	大領小学校サマーフェスティバル		2月「リスクマネジメント」 講師:春海
	敬老の日企画		
9月	であい感謝祭※であい全体	【会議】	毎月 常勤・非常勤会議(日中)
10月	BBQ(総センター)		偶数月 地域運営推進会議
11月	外出企画		
12月	万領保育所交流会※小規模であい合同		
	入居者忘年会		
	大領5町会餅つき		
	大領5町会夜警		
1月	正月		